

令和4年度【美術科】教育指導計画

(1) 科目の配当・分担表

学年	科目	担当者
1	美術	首藤 友子
2	美術	宣 昌大
3	美術	宣 昌大

(2) 指導計画表

教科の目標

- ①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ③楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

評価の観点 ① 知識、技能の活用 ② 独創的、豊かな発想 ③ 主体的に取り組む態度、姿勢

評価の対象 作品、エスキース、ワークシート、ノート、発表

授業形態 主として制作と ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの組み合わせ。

発表、説明は一斉授業

科目	美術	学年	1年	担当者	首藤 友子		
月	主題・題材	時間	主なねらい	月	主題・題材	時間	主なねらい
4	リエンテーション	1 h	教科の特質の理解、授業の受け方、評価の説明	11	伝統美術 (浮世絵) 国芳を越えろ	5 h	伝統美術の学習 ●浮世絵の鑑賞 ●形の組み合わせによる顔を表現 (繋ぐ形) ●アイビスペイントによる着彩活用によるCG表現
	色彩学習 ① 色彩理論 ② 色の名前	4 h	理論を学習し活用する ●基本的な色彩理論学習 ●学習した理論を元に混色して色の作成。用具の使い方 ●作成した色の名前を色彩ヘルパーで調べる。	12	① 木版画 ○シメトリの表現 (エスキース)	4 h	●版画の種類学習 ●転写表現 ●浮世絵の技術 ●木版画の技法
5	ハンカチの染色 ① 構成美の要素 ② マスキングによる染色 ③ 鑑賞	5 h	染色を通した色彩構成 ●構成美の要素の学習 ●学習した色彩理論と美の要素を元に色彩構成をする。 ●工芸としての染色の学習	1	○木版画制作 (3学期テスト)	2 h	●彫りと摺り
6	附中モンスター ① デザイン	4 h	●発表と鑑賞	2	オノマトペの表現 ① 個別制作	3 h	文章と絵画表現 ●パチック技法活用 ●デフォルメ表現
	② クレイ造形	5 h	形の組み合わせ ●校内のものを組み合わせ、モンスターのデザインを考える ●モンスターだけでなく背景を考える。 ●効果的な色彩選択	3	② 協働制作 表現を繋ぐ	3 h	組み合わせ表現 起承転結を用いて ●pic collageを用いた表現技能の習得 ●他者表現理解 ●発表と鑑賞 ●BGM挿入
7	③ 動画制作 (クレイアニメ)		デザインの立体造形 ●2次元と3次元表現 ●立体美の意識				
8	【夏休み課題】 行きたい場所 動画と並行して	6 h	ストップモーションスタジオで動画作成 ●立体作品の空間的表現 ●演出等のデザイン ●発表と鑑賞		最後の動画 (まとめ)	2 h	学習の振り返り ●メッセージ動画を通じたビジュアルリテラシーの学習
9	心の行きたい場所						
10	課題を元に Chroma key合成	6 h	自己表現を考える ●自分の表現の確認 ●自分が自分の絵に入る事で心理表現に繋ぐ。 ●被写体と撮影者として ●2次元と3次元の合成 ●BGM挿入 ●発表と鑑賞				

科目	美術	学年	2年	担当者	宣 昌大
<p>1. 授業の目標</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 授業の方法</p> <p>●表現の活動を通して、感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などで表現する。また、伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などで表現する。</p> <p>●鑑賞の活動を通して、美術作品やデザインされたもの、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞活動をする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きについて独創的・創造的に考えている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。 <p>4. 評価の方法</p> <p>作品、ワークシート、レポート</p> <p>5. 年間計画</p> <p>基本的に週1回の授業、年間35時間を予定</p> <p>【1学期】</p> <p>[色彩学習] 自分だけの色見本制作</p> <p>[色彩学習] 言葉の内容から想像する色をもとに、文字を着色する</p> <p>[鑑賞] 身の回りの美に関する鑑賞レポート</p> <p>【2学期】</p> <p>[彫刻] 石の形状変化の過程の知識を活用して、過去の石の姿を自分なりに表す</p> <p>[デザイン] 食欲を刺激する効果を知り、作品で表す</p> <p>[鑑賞] 身の回りの美に関する鑑賞レポート</p> <p>【3学期】</p> <p>[デザイン] 身の回りの問題発見・課題解決プレゼンテーション</p> <p>[絵画] 自分の感情を色と行為から抽象的に表す</p>		

科目	美術	学年	3年	担当者	宣 昌大
<p>1. 授業の目標</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <p>2. 授業の方法</p> <p>●表現の活動を通して、感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などで表現する。また、伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などで表現する。</p> <p>●鑑賞の活動を通して、美術作品やデザインされたもの、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞活動をする。</p> <p>3. 評価の観点</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きについて独創的・創造的に考えている。 			<ul style="list-style-type: none"> 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。 <p>4. 評価の方法</p> <p>作品、ワークシート、レポート</p> <p>5. 年間計画</p> <p>基本的に週1回の授業、年間35時間を予定</p> <p>【1学期】</p> <p>[色彩学習] 自分だけの色見本制作</p> <p>[色彩学習] 混色や水加減の調整による着色から、作品を身近な場所に同化させる</p> <p>[鑑賞・表現] 触覚を働かせる作品鑑賞と表現</p> <p>[デザイン] 色とキャラクターの関係性を読み解き、自分が身につける衣服として表現する</p> <p>[鑑賞] 身の回りの美に関する鑑賞レポート</p> <p>【2学期】</p> <p>[デザイン] 食欲を刺激する効果を知り、作品で表す</p> <p>[デザイン] 地域、企業の課題を解決するパッケージデザイン</p> <p>[彫刻] 進化の先の生き物づくり</p> <p>[鑑賞] 身の回りの美に関する鑑賞レポート</p> <p>【3学期】</p> <p>[表現] 表現方法や素材の制約なく、15歳の今の想いを将来の自分へ問いかける作品を制作</p>		